

## 片野鴨池におけるクマタカの水鳥の捕食例

中川直之・田尻(山本)浩伸・大畑孝二\*

(財)日本野鳥の会サンクチュアリ室. 〒922-0564 石川県加賀市片野町子 2-1 加賀市鴨池観察館

### はじめに

片野鴨池は石川県加賀市の中心部から北西におよそ 4kmに位置する面積およそ10haの池で (36° 19'0"N, 136° 17'30"E), 西側の大池と呼ばれる開水面約1.5haの池と, 大池の東側に広がる約 8.5haの水田および草原からなる. 秋の稲刈りが終わると水門の一部を閉じて水位を上げるため, 冬期の開水面は西側を中心に広がり, 面積はおよそ 9haとなる. ただし, 近年の減反により水田はほとんど残っておらず, ヨシ, マコモ, ウキヤガラの群落となっている. 周囲は標高30mから60mの丘陵地に取り囲まれており, おもにアカマツやコナラなどが生育している. 片野鴨池東側の水田と東側のアカマツ林の間には加賀市鴨池観察館があり, 同観察館からは調査地全体を見渡すことができる.

片野鴨池は数千羽のガンやカモの越冬地として知られており, 越冬するガンやカモを狙ってオオタカ *Accipiter gentiles* やオジロワシ *Haliaeetus albicilla* 等も飛来する. 2004年 6月現在, 片野鴨池で記録されているタカ科鳥類は15種で, その中にはクマタカ *Spizaetus nipalensis* も含まれている (大畑ほか 2003).

クマタカはインド南西部, スリランカ, インド北部およびネパールから海南島を含む中国の南部・東部, ミャンマー北部, マレー半島, タイ, インドシナにいたる地域, 台湾, 日本の山地で繁殖し, 周年ほぼ同一地域に生息する (森岡ほか 1995). 個体数は少なく, 環境省のレッドデータブックでは絶滅危惧 I B類 (環境省自然環境局野生生物課 2002), 石川県のレッドデータブックでも絶滅危惧 I 類に指定されている (石川県野生生物保護対策調査会 2000).

片野鴨池では1971年 5月30日に 2羽 (矢田 1975), 1988年 1月22日に 1羽 (加賀市鴨池観察館未発表) クマタカが観察されているが, 断続的に観察されたことはなかった. しかし, 2002年から2003年にかけてと, 2003年から2004年にかけての冬期に断続的に片野鴨池で観察され, サギ類やガンカモ類等の水鳥を捕食したので報告する.

---

2004年10月 9日 受理

キーワード: 片野鴨池, クマタカ, 水鳥, 捕食

\* (財) 日本野鳥の会サンクチュアリ室. 〒471-0005 愛知県豊田市京ヶ峰2-2 豊田市自然観察の森



図 1. アオサギを捕食しているクマタカの若鳥 (2003年 3月27日)

Fig. 1. The juvenile Mountain Hawk Eagle eating a Grey Heron (March 27, 2003)



図 2. マガンを捕食しているクマタカの若鳥 (2003年12月18日)

Fig. 2. The juvenile Mountain Hawk Eagle eating a White-fronted Goose (December 18,

### 観察結果および考察

#### <2002年>

2002年12月 1日, 片野鴨池にクマタカの若鳥 1羽が飛来した. この個体は2003年 1月15日まで断続的に観察された. 脇腹に褐色の斑がある個体で, カモの捕獲を試みるものの捕獲することは出来ず, 12月11日にはオオタカが鴨池観察館前の水田で捕獲したマガモ *Anas platyrhynchos* を, オオタカの飛去後に鴨池北側の林内に運ぶ様子が観察された. この日はこれ以外に採食行動は確認できなかった.

3月26日にはクマタカが再び飛来し, 鴨池北寄りのヨシ原でアオサギ *Ardea cinerea* を捕獲し, 26, 27日にかけて採食した. この個体は29日まで観察された.

#### <2003年>

2003年10月 2日にクマタカの若鳥が 1羽飛来し, 2004年 3月10日まで断続的に観察された. 11月13日と12月18日には片野鴨池南側水路付近でマガン *Anser albifrons* を, 12月27日には北側のヨシ原でヒンクイ *A. fabalis* を捕食した. なお, 12月18日に捕食されたマガンについては2004年 4月6日に羽毛および骨を回収し, 加賀市鴨池観察館所蔵の標本と照合した結果, マガンであることを確認した.

片野鴨池に 2期連続でクマタカの若鳥が飛来した原因は不明だが, このような湿地も出生地から分散したクマタカにとっては繁殖地に定着するまでの期間, 比較的容易に獲物を捕食できる場所として, 重要な役割を有していることがあるものと考えられる. 国内各地での情報の収集や推移を継続して把握していくことが必要だろう.

## 引用文献

- 石川県野生生物保護対策調査会. 2000. 石川県の絶滅のおそれのある野生生物<動物編>—いしかわレッドデータブック—. 石川県自然保護課, 金沢市.
- 環境省自然環境局野生生物課. 2002. 改定・日本の絶滅のおそれのある野生生物—レッドデータブック—2 鳥類. 自然環境研究センター, 東京.
- 森岡照明・叶内拓哉・川田隆・山形則男. 1995. 図鑑日本のワシタカ類. 文一総合出版, 東京.
- 大畑孝二・中川直之・山本芳夫(編). 2003. ラムサール条約登録湿地片野鴨池の管理計画及び生物調査に関する調査報告書. 日本野鳥の会, 東京.
- 矢田新平. 1975. 片野鴨池の鳥. 石川の自然 5(6): 1-18.

### Mountain Hawk Eagle captures water birds at Katano-Kamoike, a Ramsar site in Ishikawa prefecture, central Japan

Naoyuki Nakagawa<sup>1</sup>, Hironobu (Yamamoto) Tajiri<sup>1</sup> & Kouzi Oohata<sup>2</sup>

1. Wild Bird Society of Japan, Ne 2-1, Katano, Kaga city, Ishikawa 922-0564, Japan

2. Wild Bird Society of Japan, 2-2, Kyougamine, Toyota city, Aichi 471-0005, Japan

Mountain Hawk Eagles *Spizaetus nipalensis* mainly live in mountainous areas throughout the year. From 2002 to 2004, Mountain Hawk Eagles wintered at Katano-Kamoike, a Ramsar site in Ishikawa prefecture. We observed a juvenile Mountain Hawk Eagle preying on four species water birds: a Mallard *Anas platyrhynchos* (December 11, 2002), a Grey Heron *Ardea cinerea* (March 26, 2003), White-fronted Geese *Anser albifrons* (November 13, December 18, 2003), and a Bean Goose *A. fabalis* (December 27, 2003).

*Key words:* Katano-Kamoike, *Spizaetus nipalensis*, water birds

